

2020(令和2)年度～2023(令和5)年度

各教区・沖縄県宗務特別区 重点プロジェクト一覧

実践目標<貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～>

—子どもたちを育むために—

教区・特区	実践目標
1 北海道	<p>【宗派】「貧困の克服に向けて」</p> <p>1. 課題の整理</p> <p>(問い1) 専如門主が『念仏者の生き方』の中で、世界規模での人類の生存に関わる困難な問題の一つとして、「経済格差」を指摘されておられるのはなぜか</p> <p>(問い2) 世界的な経済格差は富の偏在により深刻な貧困問題を引き起こし、実に多くの人々が貧困の状況におかれ悲しみ苦しんでおり、特に弱い立場である子どもや高齢者がその影響を強く受けているのはなぜか</p> <p>(問い3) さらに、この経済格差がもたらす貧困の問題は、紛争やテロを引き起こす大きな要素ともなっているのはなぜか</p> <p>(問い4) そのような状況の中で、あらゆる人々が共に心安らぐことのできる平和な世界を実現するためには、積極的に克服すべき課題とすべきなのはなぜか</p> <p>2. 平和貢献策の一つである活動の認識と賛同</p> <p>(課題1) 宗門では戦後70年を機縁として、あらためて平和への学びを深めて議論をした結果、その貢献策の一つとして「貧困対策」を掲げたという基本認識に立つ</p> <p>(課題2) 「経済格差・貧困の克服へ」は、平和実現のため特に国内外での貧困に取り組むよう提案されたものであり、今後注力すべき課題であると総合的に判断したことに賛同する</p> <p>3. 国内外の様々な組織と連携すること</p> <p>(課題1) 国際連合で「SDGs」(持続可能な開発目標)が採択され、「誰一人取り残さない」の理念のもと、貧困問題に取り組んでいるが、その課題克服へ取り組む中で、宗教者に向けられた期待は高まっていることを受けて、国内外の様々な組織と連携しつつ、取り組んでいく</p> <p>4. 布施の実践</p> <p>(課題1) 世界を視野に入れ長期的展望に立ち、お釈迦さま以来、仏教が大切にしてきた「布施」の精神をもとに、できることから実践する</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 「子ども・若者ご縁づくり」</p> <p><達成目標> 「ひとつのご縁×北海道教区全ヶ寺・全別院=345ご縁」～次世代と共に～ご縁のある大人が、すべての子ども・若者と接点を持ち、共に阿弥陀さまのご縁に会い、全世代が「お寺を居場所」としながら「手を合わせ、お念仏申す」人となることを達成目標とします</p>
2 東北	<p>1. ご親教「念仏者の生き方」のおこころを体し、国内外に広がる経済格差の現状を学び、貧困問題に取り組む</p>

教区・特区		実践目標
2	東北	2.ご縁づくりを通して、貧困問題への対応を推進する 3.各教化団体との連携を図り、協働する門徒推進員等の人材を育成する
		<実践目標(2)> 東日本大震災をはじめとする災害に対する支援 <達成目標(2)> 1.被災者の自立 2.防災意識の向上
3	東京	・身近なところで生きづらさを抱える子どもたちへの眼差しを養い念仏者として当事者意識をもち、一体となってお縁づくりを推進する ・宗派と足並みを揃え、「子どもたちの笑顔の為に募金」の推奨を図る
4	長野	1.「子どもたちの笑顔のための募金」の継続 2.子どもたちを育むための環境について学びを深め行動する 3.SDGs（持続可能な開発目標）、非戦反戦、貧困・差別についての学びと取り組み 4.子ども・若者ご縁づくり推進委員会・少年連盟・保育連盟・仏教青年会連盟との連携
		<実践目標(2)> 濁世に生きる一立教開宗の願いを聞く一 <達成目標> 1.立教開宗の願いに学び、同朋教団としての信頼回復に向けた取り組みを進める 2.災害支援体制の継続と他団体との連携 3.差別・被差別からの解放を願う人々と連携し、同朋運動を推進する
5	国府	貧困の克服に向けて、具体的に行動する
		<実践目標(2)> 共にみ教えに学び伝える一法座活動の充実一 <達成目標(2)> 1.全寺院での報恩講の修行 2.国府別院・恵信尼公廟所及び地域における法話会の実施（参拝） 3.【各組の状況に応じ独自目標を掲げる場合、ここに位置づけるもの】
6	新潟	子どもの貧困問題に対する取り組み成果を挙げる
7	富山	貧困の克服に向けて一人ひとりが取り組む活動を支える
8	高岡	「貧困問題」に関する協議を始める 同朋教団の再生を目指して：念仏の心に生きる生活を
9	石川	1.貧困問題についての学びを深める 2.子どもたちの笑顔のために募金活動推進
		<実践目標(2)> 日常の寺院活動：各種教化組織の活性化と社会的課題を共有する寺院へ

教区・特区		実践目標
9	石川	<p><達成目標(2)> 1.被災地支援活動 2.教化組織の拡充と子ども・若者ご縁づくりの推進</p>
10	福井	<p>貧困問題についての学びを深める</p> <hr/> <p><実践目標(2)> み教えに学ぶ</p> <p><達成目標(2)> み教えに学ぶ～差別・被差別からの解放～</p>
11	岐阜	<p>○計画の周知と取り組み 1.宗派総合基本計画・重点プロジェクトの周知 2.実践目標の理解と取り組み 3.組・寺院の活動情報の発信と共有 4.教化団体等への活動推進と情報提供</p> <p>○宗門外団体との交流 1.関連活動団体からの情報収集 2.宗派計画の発信、協力体制等の確立 3.組・寺院からの紹介と情報収集</p> <p>○教区・組・寺院の協力 1.情報提供による活動の推進 2.活動における課題克服のための協議 3.計画に沿った人材発掘や推薦 4.「子どもたちの笑顔のために募金」の奨励</p>
12	東海	<p>貧困問題についての重要性を理解し、僧侶・門信徒と共に学びを深め実践する</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 同朋運動の推進</p> <p><達成目標> 差別の克服、非戦平和に向け、僧侶・門信徒と共に同朋運動を実践する</p> <hr/> <p><実践目標(3)> 寺院活動の推進</p> <p><達成目標> 連研推進パンフレット、「御同朋の社会をめざす運動」推進普及版を活用し、寺院活動の推進に向け取り組みを行なう</p>
13	滋賀	<p>貧困問題を個々が意識し、出来ることから始める</p>
14	京都	<p>貧困の克服に向けての取り組み及び奨励</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 災害対策や支援</p> <p><達成目標> 災害対策及び支援の取り組み</p>

教区・特区		実践目標
14	京都	<p><実践目標(3)> 学ぶ(研修・日常の活動からの学び) ①同朋運動・門信徒会運動のさらなる充実 ②研修会・聞法会の開催 ③伝道活動(文書伝道等)の展開 ④〈子ども・若者ご縁づくり、ビハーラ〉等への積極的取り組み</p> <p><達成目標(3)> 研修会での学び。社会貢献活動の呼びかけや実施</p>
15	奈良	<p>子どもたちを育む環境づくりに向けて取り組みを進める</p> <p><実践目標(2)> 日常の寺院活動：寺院の活性化(全員聞法・全員伝道の推進)</p> <p><達成目標(2)> 「自信教人信」のもと、法座活動の推進や地域社会が抱える諸問題への積極的な関わりを通じて、寺院の活性化をはかる</p>
		<p><実践目標(3)> 同朋教団の確立：差別・被差別からの解放</p> <p><達成目標(3)> 差別・被差別からの解放を願う宗門内外の団体と連携を深めつつ、各団体における同朋研修の充実を図り、活動の強化につなげる</p>
16	大阪	<p>持続可能な貧困支援活動の実践</p> <p><実践目標(2)> 魅力ある寺院をめざして</p> <p><達成目標(2)> 持続可能な寺院活動の基盤づくりの実践</p>
		<p>今、私にできることから始めよう</p> <p><実践目標(2)> 本願寺鷺森別院再建30周年に向け寺院活動の活性化をはかる ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげる</p>
18	兵庫	<p>社会変化に伴い核家族化が進み、弱者である子どもも、個・孤人化社会となり、その居場所が少なくなっている そんな子ども達の居場所をお寺が提供する</p> <p><実践目標(2)> コロナ禍で始める工夫した教化・伝道方法の構築</p> <p><達成目標(2)> 新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこない現状の中で、教化・伝道が途切れることなく継続できるよう、コロナ禍での法要・法座・研修会などのあり方を検討し構築する</p>

教区・特区		実践目標
19	山陰	<p>貧困問題の克服に向けた取り組み</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 日常の寺院活動</p> <p><達成目標(2)> 1.同朋社会部会 (1)差別、平和、環境などの社会問題への取り組み (2)法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する 2.寺院活動支援部会 (1)寺院機能の活性化 (2)教化団体の連携 (3)過疎地域寺院対策 3.伝道広報部会 (1)時代・社会に即応する教学 (2)文書視聴覚伝道</p>
20	四州	<p>貧困問題についての学びを深め、克服に向けた取り組みを進める</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 寺院活動の活性化に向けて</p> <p><達成目標(2)> ご親教『念仏者の生き方』を体し、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現を目指して、僧侶、寺族、門信徒が課題を共有して寺院活動の活性化に努める</p>
21	備後	<p>経済的貧困のみにとどまらず、心の貧困の克服に向け、寺院と地域、若年層との関わりを深める</p> <hr/> <p><実践目標(2)> ①門信徒部会：門信徒と僧侶が一体となって、浄土真宗のみ教えを広める ②広報伝道部会：現代の伝道の在り方を工夫し、実践する ③同朋社会部会：念仏者として非戦平和・人権尊重の活動を進め、その思いを伝える</p> <p><達成目標(2)> ①門信徒部会：門信徒と僧侶が連携し、共にみ教えを学び、深め、伝えていく場を提供する（組実践運動推進協議会の充実、全組連研開催、中央教修受講奨励、門信徒のつどい拡充） ②広報伝道部会：長年にわたり「現代における真宗伝道の課題」ということで論じられてきたが、現状はどうであろうか。改めて「伝道の課題」ならびに寺院の取り組みについて調査していきたい ③同朋社会部会：今を新たな戦前にしないため、非戦平和の営みに学び、戦争とは？人権侵害とは？についての学びを深めることで、念仏者として何が発信できるかを考え、次世代につなげる</p>
22	安芸	<p>宗門重点プロジェクトの周知徹底及び国内や世界の貧困の現状や課題についての学びを深め、克服に向けての具体的取り組みへ</p>

教区・特区	実践目標
22 安芸	<p><実践目標(2)> 日常の寺院活動 地域と寺院とのつながりを大切にする <門信徒と僧侶との課題の共有> いのちの尊厳を脅かす問題への取り組み 災害支援活動 <達成目標(2)> 1.「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の具体的取り組みへ 2.差別の現実学ぶと共に、さらなる平和への歩みの確立 3.東日本大震災をはじめ、あらゆる災害被災地(者)への支援</p>
23 山口	<p>貧困の中にある子どもたちに寄り添う</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める 一山口教区内差別はがき投書事件を通じて一 <達成目標(2)> 差別の現実を一人ひとりの課題として学ぶ取り組みを進める</p>
24 北豊	<p>子どもの貧困問題について学びを深め実践する</p>
25 福岡	<p>1.各組・各寺の貧困問題への取り組みに対して継続可能な支援体制を確立する 2.貧困問題への取り組みを始めとする社会貢献について教学的意義を明らかにする</p>
26 大分	<p>「貧困」について私たちにできることを模索する</p> <hr/> <p><実践目標(2)> ご縁づくり <達成目標(2)> 子ども・若者ご縁づくり諸施策の実施</p> <hr/> <p><実践目標(3)> 災害支援 <達成目標(3)> 災害に対し、継続した支援活動を行う</p>
27 佐賀	<p>貧困問題についての学びを深める</p> <hr/> <p><実践目標(2)> 更なる伝道の教化を行う <達成目標(2)> 1.門徒推進員養成地方連続研修会(連研)の点検と充実(門徒推進員中央教修の奨励) 2.新たな伝道スタイルの研究と実践</p> <hr/> <p><実践目標(3)> 人権問題に取り組む <達成目標(3)> 1.非戦平和・部落差別・性差別・障害者差別等の問題に取り組む</p>

教区・特区		実践目標
27	佐賀	<p>2. 「災害と人権」の問題並びに被災者支援に取り組む</p> <p>-----</p> <p><実践目標(4)> 各世代に伝わる情報発信を行う</p> <p><達成目標(4)> 1. 情報誌『かんぎ』を発行する 2. テレホン法話の実施 3. 佐賀教区フェイスブックの管理、運営</p>
28	長崎	<p>「布施」の精神をもとに各種教化団体と連携し、できることから始める</p> <p>-----</p> <p><実践目標(2)> <平和問題～安穏な社会の実現をめざして～></p> <p><達成目標(2)> 1. 全戦没者追悼法要・平和のつどいの開催 2. 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要への参拝奨励 3. 戦争、差別、人権問題等への取り組み (部落解放にとりくむ長崎県宗教教団連帯会議)との連携など)</p>
29	熊本	<p>1. 次代を担う子どもたちの育成 2. 災害支援への取り組み</p>
30	宮崎	<p>1. 宗門重点プロジェクト実践目標の取り組みを実践 2. 宮崎県内の貧困状況について学びを深める 3. 子ども・若者ご縁づくり推進、各教化団体との連携 4. SDGsの周知、取り組み実践</p>
31	鹿児島	<p>「貧困問題」について学びを深め行動へとつなげる</p> <p>-----</p> <p><実践目標(2)> 「日常の寺院活動」</p> <p><達成目標(2)> 「御同朋の社会をめざす運動」の充実</p>
32	沖縄	<p>① 沖縄の貧困問題を学ぶ ② 「子どもたちの笑顔のために募金」の奨励</p> <p>-----</p> <p><実践目標(2)> 「非戦平和」悲惨な戦争からの学びと啓発</p> <p><達成目標(2)> ① 学習会と啓発運動 ② 全戦没者追悼法要の実施と研修会</p> <p>-----</p> <p><実践目標(3)> 「人権問題」沖縄の人権問題の学びと啓発</p> <p><達成目標(3)> ① 実践運動「人権啓発推進僧侶研修会」の開催 ② ハンセン病啓発運動(パネル展の継続実施)と学び</p>